

平成17年の山科（花山天文台からの遠望）

私たちの暮らしている現在の山科です。



瞬く間に、野原が、田畑が、竹やぶが、変貌を遂げた 山科発展の様子を新旧写真で綴る巻頭ダイジェスト！

大いなる町の発展と その変遷 1

発展し続ける山科

昭和10年頃の山科（花山天文台からの遠望）

70年前の山科です。現在と見比べてください。



中央に大きくカーブを描く京津国道（三条通）には、まだ人家が少ないようです。所々に黒く広がっているのは竹やぶ。この頃の山科には、まだたくさんの竹やぶが残っていました。中央手前には鏡山尋常小学校が、左には東海道線の線路と山科駅が見えます。



駅前再開発

左の写真は「駅前再開発事業」工事の様子です。この付近は公設市場（写真上）があった場所で、現在はRACTO山科に生まれ変わりました。



高層化する山科駅前

左の写真は、山科中央公園近くの団地屋上から北を望んだ現在の風景。中央の山際に見えるのは、JR山科駅前の再開発ビル群（RACTO山科）とその周辺の建物です。右手前には東本願寺山科別院の大屋根が見えます。



地下鉄東西線の開通

平成9年の地下鉄東西線開通に伴い地下にもぐった京阪京津線が、まだ路面電車の頃の写真です。京阪山科駅から三条京阪方面へ向かう電車が、御陵駅のホームに入ってくるところです。現在、周辺は公園になっています。